

給食だより

2024. 8、9月

新宿区立花園小学校

校 長 川崎 勝久

栄養士 野呂 遥夏



2学期スタート!

夏休みが終わり、学校が始まりました。日中はまだまだきびしい暑さが続いていますが、夜になると少し秋の気配を感じます。長い休みのあとなので、生活のリズムがくずれている人もいるかもしれません。早ね早おき、朝ごはんを心がけて、元気に学校生活をすごしましょう。

きゃくただ 規則正しい食事をしよう

◆1日3回の食事が大切な理由

1日に必要なエネルギーや栄養素の量は、年齢や性別、活動量によって異なります。例えば8~9歳の男子では1日1、850キロカロリー、女子では1、700キロカロリーのエネルギーが必要です(「日本人の食事摂取基準2020年版」)。これを1日2回の食事でとった場合、一度に850~950キロカロリーをとることになります。食事をとらない時間が長くなると太りやすくなるほか、おなかが空いておやつの量が増えるなどして、脂肪や糖分をとりすぎるおそれもあります。このような食習慣は子供の成長にとって望ましくありません。

◆朝ごはんを食べて 1日を元気に過ごそう

私たちの体には、1日25時間の「体内時計」があります。朝、自が覚めて、日中活動し夜になると眠るのは、この体内時計の働きによるものです。体内時計の中心は脳にありますが、からだ 体のほぼすべての臓器にも時計があり、これらは脳からの指令で調節されています。1日は24時間、体内時計は25時間なので、毎日1時間のずれが生じることになります。これを毎日リセットしてくれるのが朝の光です。そして朝ごはんも体内時計の調節に関わるといわれています。朝ごはんを食べることは、体のリズムを調えるうえでとても大切です。

朝ごはんの効果







たいおん あ 体温が上がり、元気に動けます ^{あだま} 頭 がはたらき、集 中 カアップ 便通がよくなり、おなかすっきり